

学校における

働き方改革推進について

1. 枚方市立小・中学校の勤務実態 (P1)

2. 業務改善推進校取組共有会 (P2)

3. 業務改善推進校の取組事例 (P4)

- ・市全体と推進校の時間外勤務時間の比較
- ・話し合うことが「step0」
- ・働きやすい職場環境(ソフト面)
- ・情報発信
- ・働きやすい職場環境(ハード面)
- ・業務アシスタント活用事例
- ・タブレット活用事例

資料:働き方改革の目的・取組

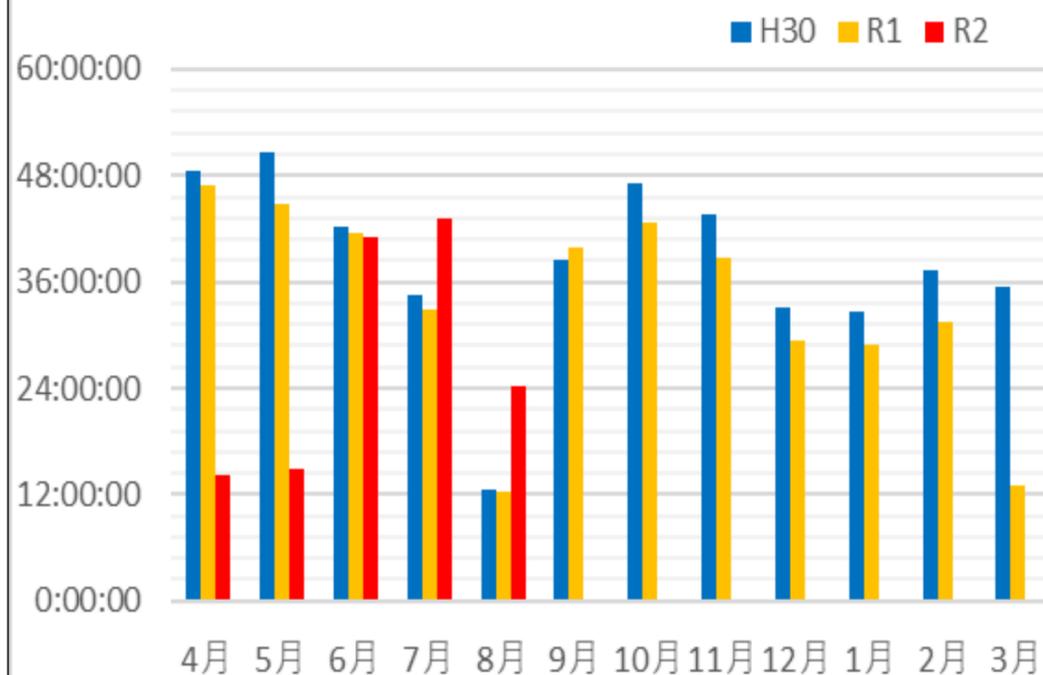
令和2年10月

枚方市教育委員会 学校教育部 教職員課

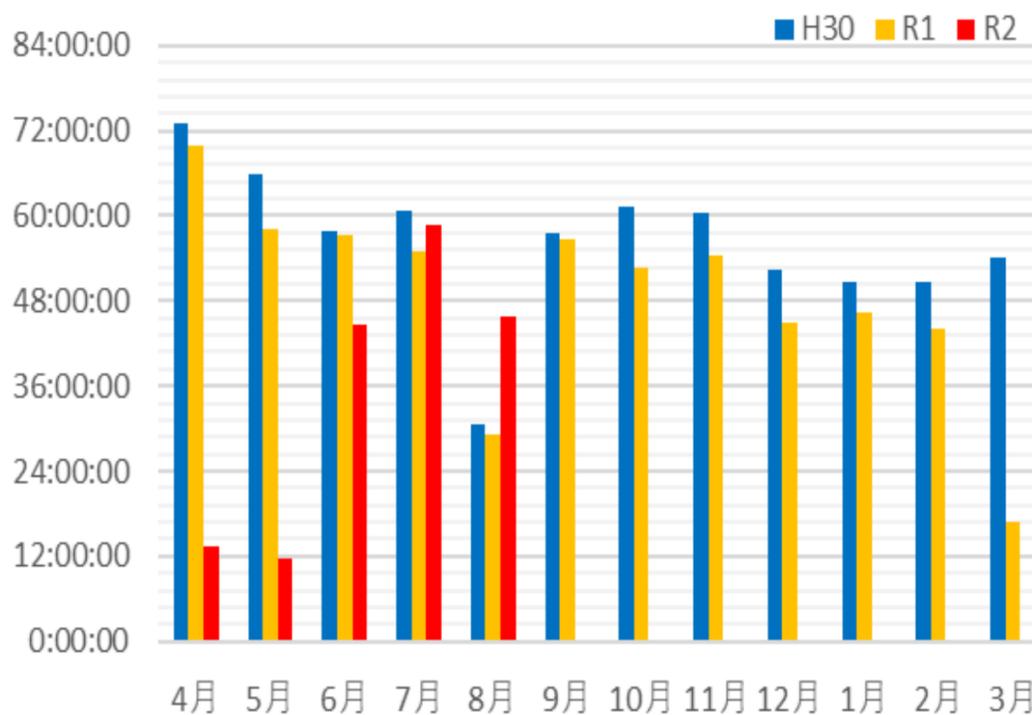
枚方市立小・中学校教職員の時間外勤務時間



小学校時間外平均時間



中学校時間外平均時間

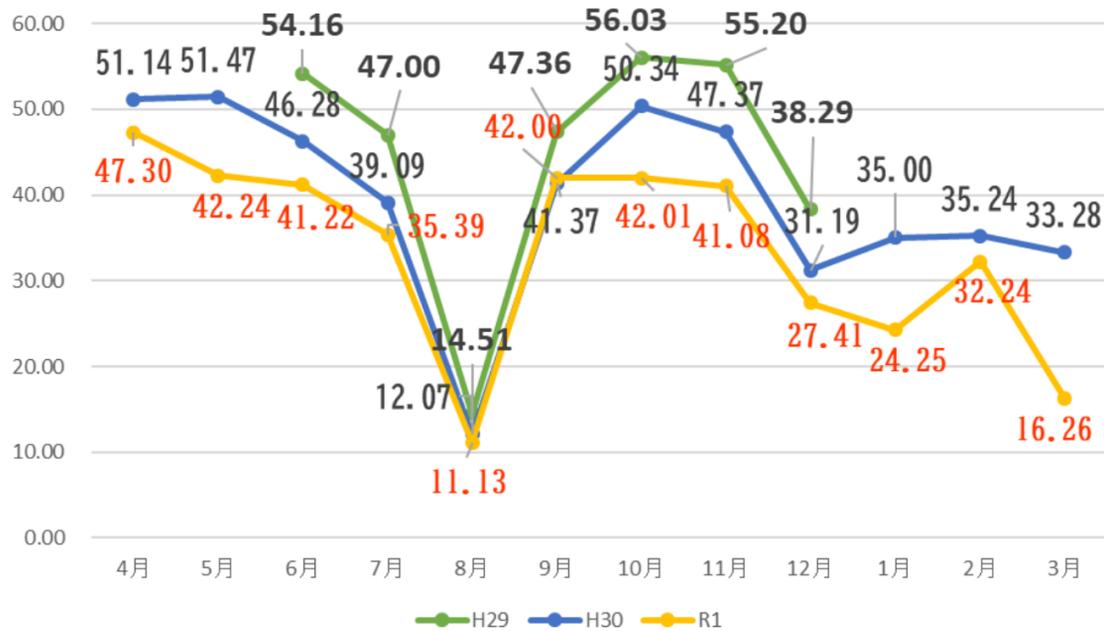


H30.4~R2.8のデータ

令和2年度 業務改善推進校(樟葉小)の勤務実態

齋藤教頭先生に
聞きました!

教職員勤務状況(時間外勤務時間)



H29.6~R2.3のデータ

業務改善というミッションに対して正しく理解し、「やるからには成果を出す」という強い意識を職員全員で共有したことが結果につながったと思います。

時勢、市の応援も受けながら「自分たちだけじゃない」と前向きに努力できたことも大きかったです。

職員に口をすっぱくして言ってきたことは、同僚性を高めること。「管理職が」ではなく、職員同士が横のつながりの中で意見を言い合える、助け合える風土・環境を作ってきたことが何よりも大きな要因だと思います。

業務改善推進校取組共有会 (第2回目の様子)

第2回業務改善推進校 取組共有会
みんなで学校をつくろう!

～すべての教職員がいきいきと働くために～

9月11日(金) 9:30~11:00



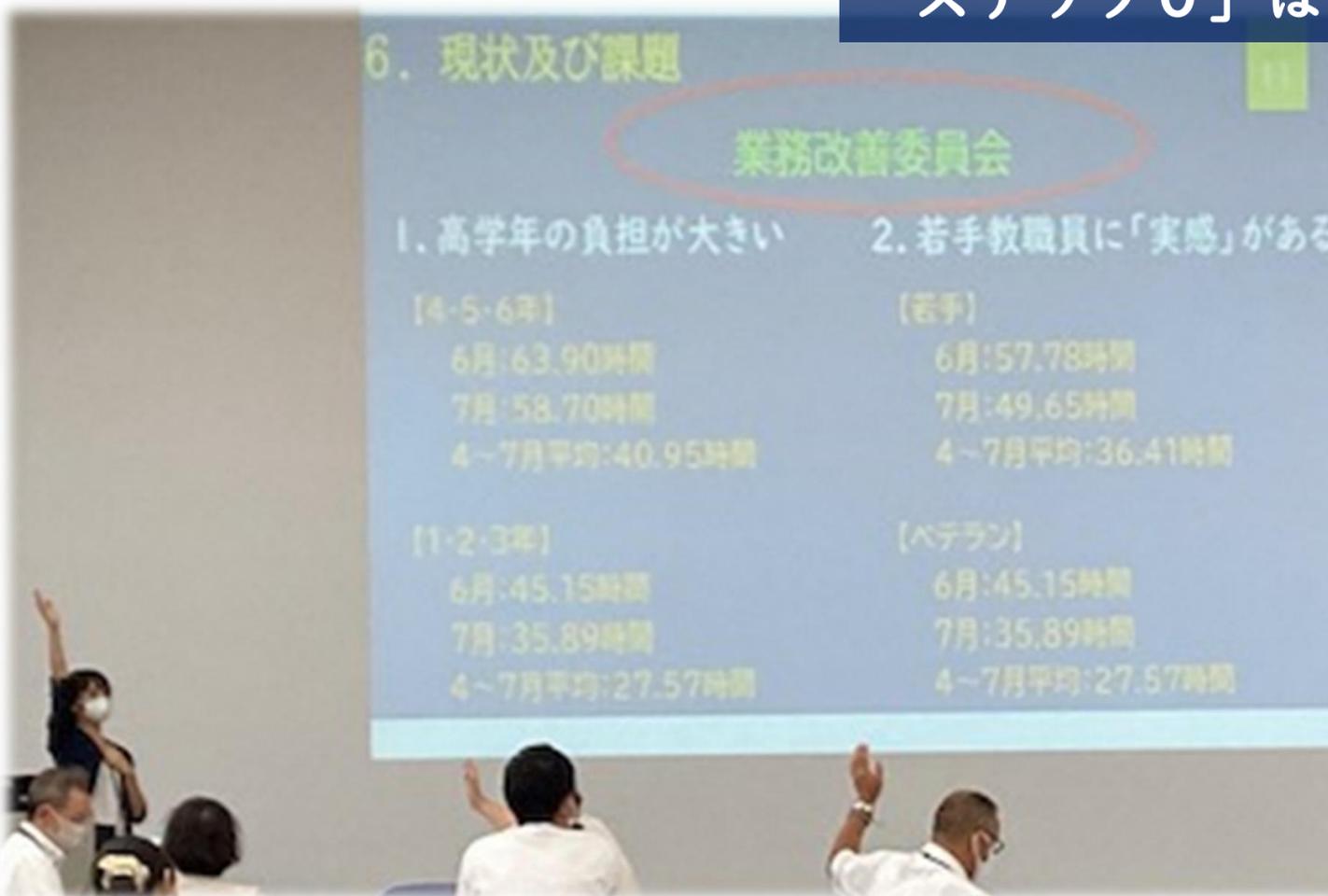
「ステップ0」は全員で話し合うこと

6. 現状及び課題

業務改善委員会

1. 高学年の負担が大きい	2. 若手教職員に「実感」がある
[4・5・6年]	[若手]
6月:63.90時間	6月:57.78時間
7月:58.70時間	7月:49.65時間
4~7月平均:40.95時間	4~7月平均:36.41時間
[1・2・3年]	[ベテラン]
6月:45.15時間	6月:45.15時間
7月:35.89時間	7月:35.89時間
4~7月平均:27.57時間	4~7月平均:27.57時間

「業務改善委員会」のように分掌として位置付けている学校、分掌にはないが企画会議等話し合う機会を設けている学校、さまざまですが、校内研究と同じように、「教職員全体での実態把握・課題共有・取組について検討、実施」が効果的です。自分たちの学校の業務改善について「考える場」をつくっていきましょう。



樟葉小の取組報告

- ①意識改革⇒組織改革⇒意欲改革の3年間の成果の上に、4年目。
- ②時間外勤務の減少・ストレスチェック・学校教育自己診断の分析により成果を実感。

樟葉小
喜多校長



- ③業務改善委員会による課題分析。高学年の負担軽減のため、ランチタイム学年会導入に向け検討中。若手育成システムの向上・指導のスタンダード・授業力のさらなる向上をめざす。
- ④モチベーションは上がっているので、それを永続的に・・・という意味でマインドセットを大切にしていく。

蹉跎東小の取組報告

- ①学校として、「量より質」。優先順位を意識。専門性を最大限に発揮できる取組を進め、発信する。
- ②日課表の見直し。電話対応時間について中学校区として発信。ペーパーレス会議。職朝減により児童との時間増。

蹉跎東小
友田教頭

高学年の専科制

- ・ 5・6年生 算数 週5時間/各学級
- ・ 4・5・6年生 理科 週3時間/各学級
- ・ 6年生 音楽 週1～2時間/各学級

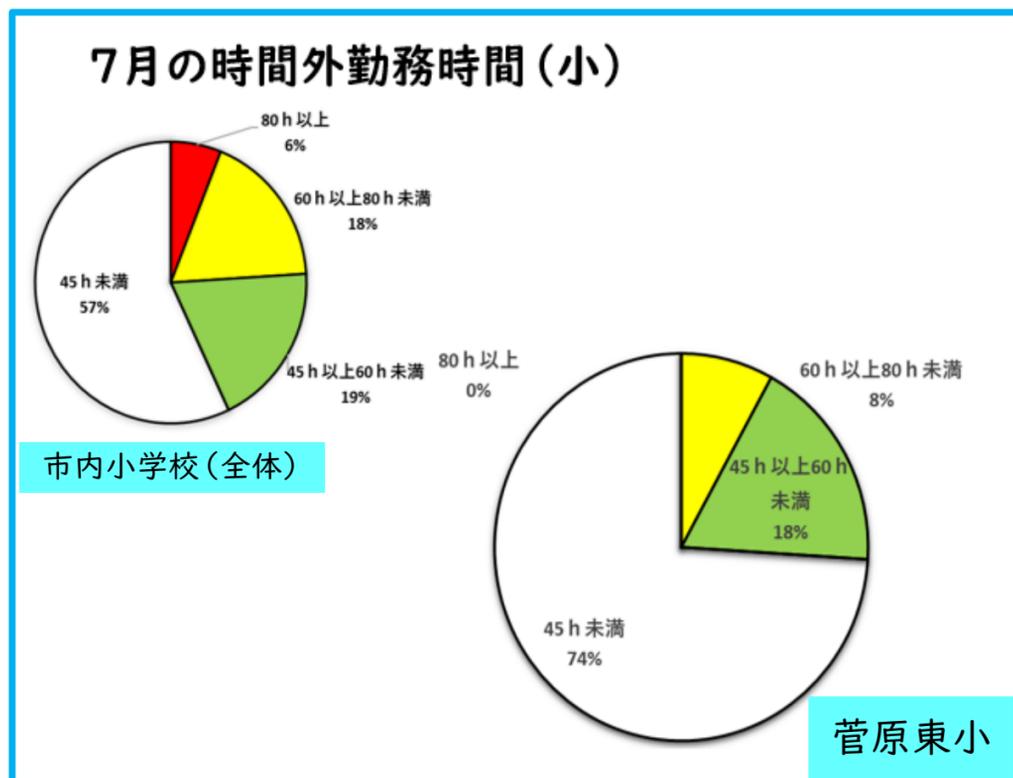
6年生 週10時間 空き
5年生 週 8時間 空き
4年生 週 3時間 空き

授業準備、学年会、他学年のサポート 等々

- ③高学年専科制。6年生の授業準備時間（空き時間）10時間。低学年の応援に行くことも。
- ④職員からの提案で「校内コロナ対策委員会」が結成。ボトムアップも大切に、業務改善チームもできれば。

業務改善推進校(10校)の取組事例

市全体と推進校の時間外勤務時間の比較

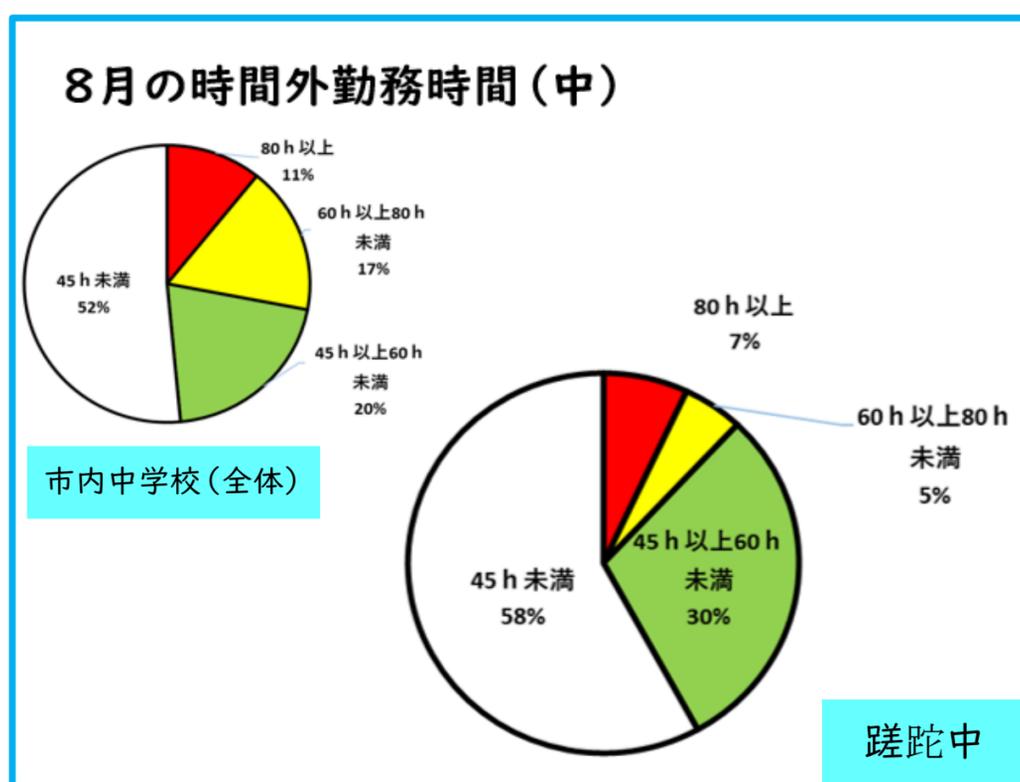


菅原東小
大船校長

- ①アンケートを取り分析している。時間外が減ったという実感が34%ある。
- ②教員は、前年度終わりに今年度の方針をおおよそ決めている、アシスタントを有効活用している、専科の存在等が有効であると実感。
- ③教職員の意識。業務改善に前向きに取り組むことで、ストレスが減りやりがいを持っているという実感がある。



蹉跎中
若田校長



- ①この時期の部活動 | 8時最終下校を17時半に変更。生徒下校後の静かな環境の中仕事がスピーディーに進むように。
- ②学校の他で楽しみを見つけることが人生を豊かにする一つであることを頻繁に話している。
- ③時間外が増えてきた教員にあと〇時間で80時間を超えることと、どのように仕事を進めていくかについて助言。

話し合うことが「step0」

★樟葉小学校

PLAN (全体) ※業務改善アンケートを実施

「①業務の中で時間がかかっていること②学校としてできること③各自が業務改善していること」を全職員から吸い上げ、推進リーダーが整理。

PLAN (コア)

「まずはやってみる」が基本理念。

職員のやりがいと教育の質を落とさず、効果的な取り組みを学校の現状に合わせて実現可能なレベルへと練り上げ、全体へ提案。

検討事項

- ・朝の立ち番
- ・ランチ学年会
- ・クリーンアップタイム
- ・会議の持ち方の改善
- ・タブレットの有効活用
- ・有休の計画的取得

樟葉小 第3回業務改善推進委員会 (9月29日の様子)

自校の子どもたち、職員にマッチするのかな。どのような効果があるか。効果検証。

クリエイティブな思考、実践が職員の「当事者意識」を高める。取組が一層加速！

DO (全体)

【南門の朝の立ち番】

9月まで	教員のみ
10月 (施行期間)	教員と安全監視ボランティア
11月 (本格実施)	安全監視ボランティアのみ

【ランチタイム学年会】

10月 (スタート予定) 担外が3～6年生の給食指導へ
各学年のニーズに応じて。給食指導方法の統一。児童の様子等の共有。
アレルギー対応の注意等も確認。

働きやすい職場環境（ソフト面）

ストレスチェックを有効活用！

教職員のストレスチェック実施に向けて、管理職からどのようなアプローチをしているか、業務改善推進校10校の管理職対象にアンケートをとりました。一部を紹介します。

ストレスチェックは、メンタルヘルス不調の未然防止と共に、各校の分析結果を、よりよい職場環境づくりに役立てることを目的としています。

アプローチ例を参考にし、各校で取組をお願いします。

意識・意義

自己チェックの必要性を伝える。受検することが意識改革にもつながるということを伝える。

目的や趣旨について会議や打合せで説明をする。

菅原東小（業務改善推進校）
大松校長のコメントより

ストレスチェックは前任校で100%実施をめざしてきました。職員の業務改善への意識改革に有効です。現任校でも完全実施をめざしたいです。

蹉跎東小（業務改善推進校）
桐山校長のコメントより

今年度から推進校になり、自分の意識をさらに高めるためにも、次の職朝で、呼びかけ、100%めざします！

ストレスチェックの実施に向けて ～管理職からのアプローチ～

会話。個別に声をかけることでその人の意識を知る。声かけをきっかけにその人の困り感を知る。職員のメンタルを心配して声かけをすることが一番の効果。

おもいやり

時間の確保

打合せ後等に時間を設定し、実施することが効果的。

学校で実施期間を設定し、そのための時間を確保する。

工夫

チェックの直前に、管理職からハガキを渡す。

ポップアップでの告知。

根気強く

毎日、何度も、受検について伝え、ポップアップにも上げ続ける。

★「枚方市立学校園における教職員のストレスチェック制度について」（7/31教職員課通知）より

令和2年8月実施の市内平均
小学校 64.5% 中学校 41.3%

	R01 8月実施率	R02 8月実施率
伊加賀小	40.6%	93.3% ↑↑

高嶋教頭先生に
聞きました！

まず大事なものは、「なぜストレスチェックをするのか」をみんながちゃんと理解すること。その上でストレスチェック自体も職員とコミュニケーションを図るアイテムとして使いました。

以前の経験から、チェックの実施期間前にハガキを配っても、意識が薄れたり紛失したりでダメだったので、教頭が一旦預かって、回答期間内に職員各々のタイミングで取りに来させる作戦に。

「今ストレス感じてるから、今やりたい！」と言って来る人もいれば、一向に自分から取りに来ない人もいますので、そういう人とは「今忙しい？」「何か抱えてる？」と声かけをするきっかけにもなりました。今年度はコロナ禍で特に職員との関係が希薄に感じたので、「まだ私が持ってるんやけど！」と冗談で面白おかしくやりとりを楽しんだことがよかったのかなと思います。

万策は尽きない！
「本当に一万もの策を講じたのか？」

教頭通信 寺前 幸児
2020. 7. 31 No.9

ストレスチェックをしましょう！

来週8/3(月)からストレスチェックが始まります。期間は2週間、8月16日(日)までなので、夏休みもかかってしまいますので、ぜひ、夏休みが始まる前に終わっておきましょう。例年、ストレスチェックを受ける割合が低いそうです。その理由の一つに、**そういう時間ももたない、それをすること自体ストレス**と言った声を聞きます。しかし、これは、働き方改革の一つです。本校は、業務アシスタントが導入されて2年目、何度も言いますが、64小中学校の内の10校に選ばれたのです。つまり、その**意識改革！一歩一歩確実に** どうなのか？業務改善 **(菅原東小寺前教頭作成)** してやってほしいのです。

また、このストレスチェックは、「**ストレスを客観的にテストできる。**」「**管理職と直接話をしなくてもテストできる**」と言ったことが挙げられます。皆さんの受ける割合が高ければ高いほど、精度も高くなります。業務改善を取り組んでいて、業務アシスタントさんに来てもらっていて、例えば、ストレスが高いという項目があったとしましょう。じゃあ、それはなぜなんだろう？個人の問題？組織の問題？そういった細かく分かれた項目がわかります。そしてそれは、菅原東小という組織の中で、お一人の先生だけが感じ取っていることだけではなく、他の先生方にも共通してあることかもしれません。とにかくやってみないことにはわかりません。チェックも20分もかかりません。ストレスチェックとは、業務改善の音頭の部分も担っている

	R01 8月実施率	R02 8月実施率
菅原東小	41.9%	83.7% ↑↑

もつながっています。どうかご協力をお願いします。
*これは、業務改善のPDCAのCの一つです。

働きやすい職場環境（ハード面）

「あれ、どこいった?」「前は〇〇にあったのに」と物を探す時間を無くせば、ストレスも減ります。事務職員さんが活躍しています!



不要な紙資料がこんなに!



★交北小学校

業務アシスタント活用事例

6年生全員分のiPadに個人シールを貼付

マジックペンのスクリーニング
使えるか使えないか等

木工用ボンドの補充中

★蹉跎東小学校

小学校の教員経験と子育ての経験があるので、教員の目線と保護者の目線で働かせていただいています。どちらの目線で見ても、さまざまなことでの先生方の負担が多いことを実感しています。先生でなくてもできることをさせてもらい、先生方の負担を少しでも減らせたらと思っています。

一番多いのは、印刷です。保護者の目線で、自分の子どもが使うプリントだったらきれいに印刷されていたほうがいいと思うので、ゆがみがないかなどに気を付けています。

忙しくて先生方が手が回らないところに目を向けて、作業をするようにしています。整理整頓や清掃にも取り組んでいます。教材作成や美術の授業の準備、封筒のあて名書きなど、先生方の時間負担が軽減できるようにしています。

来校者がわかりやすいように

職員室・保健室
図書室 2階



4階…1年教室、青空4・5・6
3階…2年教室
2階…3年4組～6組、PC室
1階 3年1組～3組
青空1・2・3

仕上げがとても丁寧でありがたいです。教材が入っていた段ボールの処分をお願いしたこともあります。ちょっとしたことかもしれませんが、その時間に授業に関することができると助かります。自分でなくてもできる作業をアシスタントの方をお願いできることは大きいです。(教員の声)

使いやすいように、分類

教材を作成中

★東香里中学校

長尾西中担当のアシスタントさんにインタビュー!

Qどのような形で業務の依頼があるのですか。

A依頼書のフォーマットがあり、それに記入していただいています。いつまでに、何を、どのように仕上げるのかが分かるようになっています。

Q仕事内容はどんなものがありますか?

A昨年は小学校でアシスタントをしていたのですが、印刷と丸付けが一番多かったです。今年も印刷や丸付けもあるのですが、授業の中で取られたアンケートの集計や、理科の実験準備や後片付け、各教科の成績入力などもあります。配布物の仕分け作業もします。

Qどういったときにやりがいや楽しさを感じますか。

A自分がアシストすることで、先生方がスムーズに授業に向かう姿を見ると嬉しいです。

タブレット活用事例

★伊加賀小学校

朝の電話対応が激減！（Googleフォーム活用）

児童の登校前に、出欠、健康状態が保護者の方の端末から送信

No.	番号	児童名簿	児童名	出欠	体温	健康状態	未回答	出欠	体温
1	1		ひこぼし	出席	36.2	症状なし			
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									

朝の対応がとても楽になりました。紙で健康チェックを集めていた時は、1年生の教室の前の廊下は、ランドセルを広げる子どもたちでごった返していました（笑）。子どもたちの健康状態をタブレット上で一覧で確認し、健康状態が把握できているので、迎え入れる時には「今日は熱がいつもより高めだけど大丈夫？」と個別の声かけができます。（教員の声）

10月8日現在、8割以上の家庭が積極的に活用。担任の朝の健康観察（コロナ対応）が大幅に軽減。

電話による欠席連絡がゼロ！
静寂の職員室



出勤後、8時20分の登校時刻に教室で児童を待ちながら、体温等確認。



職員朝礼をなくし、子どもとの時間増！（スプレッドシートの活用）

職員朝礼で確認していた行事予定や連絡事項をタブレットで確認。（連絡漏れがないようにClassroomも適宜活用）

職員朝礼がゼロ！

朝、今週・本日の予定の確認が教室で、可能に！

担任は子どもたちと向き合う時間が増！



出勤後、8時20分の登校時刻に教室で児童を待ちながら、予定確認。



出勤後、8時20分の登校時刻に教室で児童を待ちながら、予定確認。

- タブレット上で…
- 今週末、自己申告票（進捗）メ切。お忘れなく！（校長）
 - 初任研15時から。教育実習生も参加。興味ある方はどうぞ。（〇〇）
 - 「子宮がん検診」希望の方は10/13までに。（教頭）・・・

学校における働き方改革の目的

～教職員が元気な学校は、子どもたちも元気な学校～

これまでの働き方を見直し、教職員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、誇りややりがいをもって勤務することで、子どもたちに対して、効果的で充実した教育活動おこなうことをめざす。

意識改革

- ・「時間を意識した働き方」へ。限られた時間を最大限に有効活用し、効果的で充実した教育の実現をめざす。
- ・働き方改革研修の実施。
- ・業務改善推進校の取組好事例の発信。
- ・専門コンサルタントによる研修・助言。
- ・原則スクラップ&ビルド。

学校指導体制の整備

- ・部活動ガイドラインの遵守徹底。
- ・研修内容、実施方法の精査による効果的、効率的な研修の実施。
- ・市教委による学校訪問体制の再構築。

事務業務の軽減

- ・業務アシスタント活用（推進校10校）
- ・自動採点システム活用（中学校3校）
- ・校務支援システム活用
- ・タブレット活用

時間管理の徹底

- ・出退勤システムを活用した在校時間の適切な把握。
- ・学校⇄家庭の電話対応時間の設定。
- ・市教委⇄学校の電話対応時間の設定。
- ・学校閉庁日の設定。
- ・定時退庁日の徹底。

教職員のメンタルヘルス対策推進

- ・働きやすい職場環境づくりの徹底。
- ・ストレスチェックを年2回実施。
- ・1月あたり時間外勤務100h以上又は2～6月平均80h以上の教員全てについて、産業医による面接指導を行い教員の健康管理を徹底。

学校における働き方改革（これまでの教職員の働き方の見直し）は、子どもたちに対して、効果的で充実した教育活動をおこなうため取り組むものです。

大切なことは、時間は限られているということ。その中で、

1、授業力を磨くこと。

2、日々の生活の質・教職人生を豊かにすること。

自らの人間性や創造性を高めましょう。